

新編水滸畫傳

八編

八

~21
875
78



新編水滸画傳卷之七拾八
875
78

神書佛書醫書國學
繪本年中新古賣買
手遊いらく法行の間
河内文了

依後町三休格書入
河内屋孫玄清

新編水滸画傳卷之七拾八

東武 高井蘭山公羽 譯編

明治三十二年
十月十日
講求



○墳地と練之陰險逆と表の

相也大業徽宗乃思皇帝ハ右射宿元氣ヲ衰ムル処ニ從ヒ候
蒙羅截と行軍考謀としめ。金銀段足衣甲馬匹ホの貴物
と持しめ河北ホキク。陳權軍江ホ勅書と賜ひ自。又王蕭若放
ホ小初ら良嶽ホ以キ。遊樂とナク。軍勢ノ大軍とシテ
ホナク。あふど是悦ハナレ。止ホ是人至不。遠處若。唐日。弓
余歡と云し。玄經ホ侯蒙羅截と和書及び徳物ホ賜ふ。あく三
十又粘の車ニ執河ホと屋。ぐを奈し日と控。威勝城ホ二十
里の卯ホ。ゆりし。張清丈婦葉清ガ田虎と。後。其。小遊け

新編水滸画傳卷之七拾八

此ハ張清ハ此ト厚トシク。侯景ハ殺スルハ又人ト城中ニ
モシテ叛ト報トシテ。陳漢帝ハ法ヲ執ル。鄭ト出
ク。お近ハ侯景ハ殺スル。城中ニ法ト。勅トシテ。陳漢の上ニ。並
江ト。始トシテ。君トシテ。向ク。流シテ。侯景ハ南ト向ク。陳漢の元
ト立シ。時。陳漢宣ト。書ト。始トシテ。陳漢ト向ク。九。始トシテ。書
ト。勅。書。侯景ト。人ト。時ト。文ト。云

制曰朕以敬天法祖。續紹洪基。大業永成。尔來辺
庭多叛。国祚少寧。尔先鋒使宋江等。跋山川。越
險阻。十分成平。虜之功。朕實喜賴。今差參謀侯
蒙賜詔書。陳瓘。宋江。盧俊義等。以賞。你。功。茲者。又
因強賊王度。作乱傾城。民。尔等。衆將。協力。忠

先救宛列。功奏。湯平。定行。封賞。尔其。欽哉

宣和五年四月

聖旨。勅書ト。侯景ト。年ト。宋江ト。各ト。各ト。賜ト。已ト
於ト。侯景ト。命ト。今。侯景ト。正ト。宋江ト。三。宋江ト。給ト。散ト。陳漢
梅ト。及ト。侯景ト。命ト。今。侯景ト。正ト。宋江ト。三。宋江ト。給ト。散ト。陳漢
と。賜ト。侯景ト。命ト。今。侯景ト。正ト。宋江ト。三。宋江ト。給ト。散ト。陳漢
可ト。及ト。侯景ト。命ト。今。侯景ト。正ト。宋江ト。三。宋江ト。給ト。散ト。陳漢
田。虎ト。宋江ト。引。侯景ト。正ト。宋江ト。三。宋江ト。給ト。散ト。陳漢
山。の。侯景ト。命ト。今。侯景ト。正ト。宋江ト。三。宋江ト。給ト。散ト。陳漢
壯。衣。侯景ト。命ト。今。侯景ト。正ト。宋江ト。三。宋江ト。給ト。散ト。陳漢
あり。侯景ト。命ト。今。侯景ト。正ト。宋江ト。三。宋江ト。給ト。散ト。陳漢

ら。東江の程子と云く。流石なる事あり。又蕭儀金大堅として石
碑と厥し。田虎と征伐す。功と紀し。ひけ時。日月あり。あれ。ち
東江の東。清小令。大酒宴を設。を平と度。かえ。陳安。接侯
象。程。歌と上。座。小。清。東江。以下。張。清と。除。さ。百。七。人。河。水。の。傳
ね。喬。乃。清。馬。突と。作。十。七。人。右。小。列。産。し。柁。と。初。め。り。り。さ。ん。い
陳。儀。儀。象。程。歌。と。唐。上。小。於。く。東江。の。切。と。稱。美。し。り。し。い
東江。も。又。三。人。の。知。さ。と。は。う。を。收。び。或。ち。朝。廷。の。と。と。倫。し。或
と。武。能。と。談。し。昔。よ。否。と。火。逆。し。半。夜。お。お。り。散。り。け。り。次。の
日。東江。の。異。用。と。共。小。須。く。大。軍。と。引。り。し。加。友。小。解。別。し。陳。儀
の。云。と。同。く。威。務。城。と。お。さ。す。南。と。帝。と。を。祭。り。さ。り。り。の。地
お。も。侵。ま。と。さ。り。け。り。百。姓。大。く。收。び。ち。ち。と。柱。城。と。と。し。り。り

お。迎。へ。東江。の。徳。子。威。怒。を。去。り。小。後。而。希。張。清。の。傳。美。葉。清。と。は
し。田。虎。と。引。り。東。家。小。名。り。又。東江。の。書。札。と。右。を。尉。小。監
り。れ。右。を。尉。け。越。と。天子。小。奏。を。り。れ。天子。も。大。小。慶。英。母子。の。貞。孝
と。稱。し。物。と。慶。英。が。母。家。氏。と。追。考。し。介。休。貞。節。縣。君。と
か。り。有。目。小。命。り。枝。城。小。細。廟。と。建。し。め。日。時。の。祭。と。終。り。り。め
慶。英。を。封。じ。貞。孝。臣。人。と。なり。葉。清。と。封。じ。正。權。軍。と
なり。白。石。五。十。兩。と。賜。り。功。と。賞。す。り。張。清。の。昔。の。系。職。も。後
す。ひ。時。天子。は。司。小。命。じ。田。吉。丸。田。豹。田。彪。と。市。中。小。引。り
り。斬。罪。小。引。り。ひ。け。時。慶。英。の。父。母。の。小。像。と。け。場。の。傍。小。掛
糸。小。一。つ。の。年。子。と。す。多。小。年。時。小。引。り。田。虎。の。斬。り。を。待。監
斬。宜。小。清。く。自。り。田。虎。の。首。と。お。居。り。年。上。小。供。り。父母。と



新編水滸畫傳卷之七拾八

三
四
五



引出すと待
田虎中元と
猶英法場出

新編水滸畫傳卷之七拾八

三

○春陽と鳴く妖艶好と生れ

或日王慶入文不伎而小即く子く半とりりる城南小遊
 んと間あし玉津園ふおりしけ時ハ政和六年仲春のとき
 へ遊人帳のとり集り。ちまふ雲のどく龍く花柳まを競りけ時
 王慶と兵一人と津園の地ゆ不廻個。おお満の人あふ内樓
 小遊人と童柳のりお泥ま。春まをまて知お忽ら池のわ辺
 十人伴の幹人前拂し。多くの養婢廿一粟の轎子と紅装て
 首とくまを来り王慶近より竹橋子の内とるふ。一人の女
 花の如き貌なり。えま好美の王慶をばあく魂とぬ。只轎子
 とんやし。彼警蹕の幹人の悉くを費財中の人まは兵遠く
 轎子お附添ひ。赤お巡りおお巡りて。良岳の前おりの柳け

良岳と云い良岳の赤山の隅にあり。是れ徳宗皇帝の系りし
 むる処。奇峰怪石。壑澗池泉をく。まを養ふべう。兵向らま
 朱の板あり。林園と。是天子の別荘をね。平人の扱の尖
 も入る。と。能ひ。時彼一族の人の良岳の赤おり。多くの如ハ彼
 女子と投け。轎子よりお。良岳の門内おを。入る。門番の役
 人。黙然おれと。り。え。より。彼女子。い。ま。費。い。の。姫。女。な。ま。と。養。女。と
 一。葉。依。の。子。少。伴。配。し。む。小。名。の。嬌。秀。と。を。歳。己。お。二。八。なり。け。け
 い。天子。東。御。の。家。お。遊。者。一。良。岳。お。あり。あ。ら。る。な。ら。ば。重。愛。せ。ん
 也。相。禁。守。お。さ。す。且。良。岳。も。葉。因。と。ぬ。と。嬌。秀。と。遊。し。む。け。時
 王。慶。ハ。悦。案。と。し。二。時。たり。門。前。お。待。ど。も。彼。女子。と。ふ。お。あ。り
 ざ。ん。が。後。申。大。お。知。し。の。意。赤。巻。の。酒。瓶。お。お。り。懐。と。し。く。お。七。盃。の

相公お申と你が首として縛る二ツなまんと穿まは王慶の首
 の痛く醒る心地として三日に様もなかり候と抱く廟門と之
 り出。自ら心の中おろし。我いんぞけのどく歎める。竹の相府
 の令を我の候に軍役なるお彼とありお慕ふ。旅帳帳の
 天機の因と嗽んとするお笑なう。いんぞ食ふととぼんやとて。
 家おゆり。そ夜に。家と思ふに。休むらる。お月より只姑夫
 がとの思ひ慕ひ。物多お小居。お是。由来。嬌鳥。慕春
 花。不識。春花。慕嬌鳥。さ。い。嬌。鳥。も。彼。日。王。慶。と。ん。め。め。と。よ。
 り。只。日。夜。と。の。小。慕。ふ。厚。く。侍。婢。小。祐。の。董。侯。小。王。慶。の
 処。兼。不。休。細。と。言。遂。不。嫌。娼。とお針り。磨。小。王。慶。と。喜。介。府。の。表
 門より抱入。人あは鬼あは。替りなれ。王慶自ら。改む。た。び。

只。渡。月。の。と。飲。等。暮。と。河。の。臺。厨。お。出。入。い。は。進。初。若。も。な。ら。う
 り。ら。る。と。れ。ば。さ。の。に。三。月。も。経。り。し。が。後。お。云。樂。究。く。悲。と。生。代。
 或。日。王。慶。醉。ぬ。泥。の。ど。友。人。の。糸。と。け。と。替。り。話。せ。飛。言。と
 な。く。い。半。世。と。お。云。解。正。排。軍。張。斌。の。耳。子。入。ま。は。喜。賀。子。外
 と。若。者。と。貴。旦。怒。り。且。羞。折。と。河。の。茶。飯。お。と。測。り。磨。小。王。慶。と。教
 さんと計き。世上一笑。つ。お。ね。い。御。の。孫。の。年。と。云。福。さん。と。て。只。福。小
 王。慶。が。飛。色。と。存。の。ら。お。又。王。慶。の。け。と。お。お。亮。一。と。れ。お。入。り。と。臺
 府。お。住。バ。或。日。家。内。お。問。座。せ。け。時。夕。月。巾。旬。と。春。賀。云
 ら。れ。板。橋。と。天。井。お。む。て。兼。係。一。が。家。内。お。往。を。朋。と。知。者。ん
 と。主。ろ。が。忽。ち。板。橋。の。口。御。揺。お。と。れ。は。王。慶。大。お。叶。と。云。春。賀
 ら。々。と。く。お。お。揚。く。板。橋。と。揚。る。お。か。と。利。く。と。お。お。と。お。お。お。助。

新編水滸傳

と違へく北下ふ別と告りくと嘆く半時より初まれば王慶
が喜ひは音不登死をありけ極極と又別王慶の面とすく云即南
怪物毎日卯子出く魚目と顧べぬ世今返り来く又何事と
かばや。王慶が云人親を和ふめば我多ふ月助と差へぬ彼婦
人王慶と掛け起ての王慶の妻の肩ふくと御堂と喰切叶んで
云阿也痛とまじと彼婦止まひと罵く云不正質汝者く人とあ
合く痛とならふ。今日何の人ふおればのどく痛むやと王慶と床
上お投上先一注子の酒一碟の肴と初め又戸と穿改帳と治くぞ
夜ふく入帰歌ける

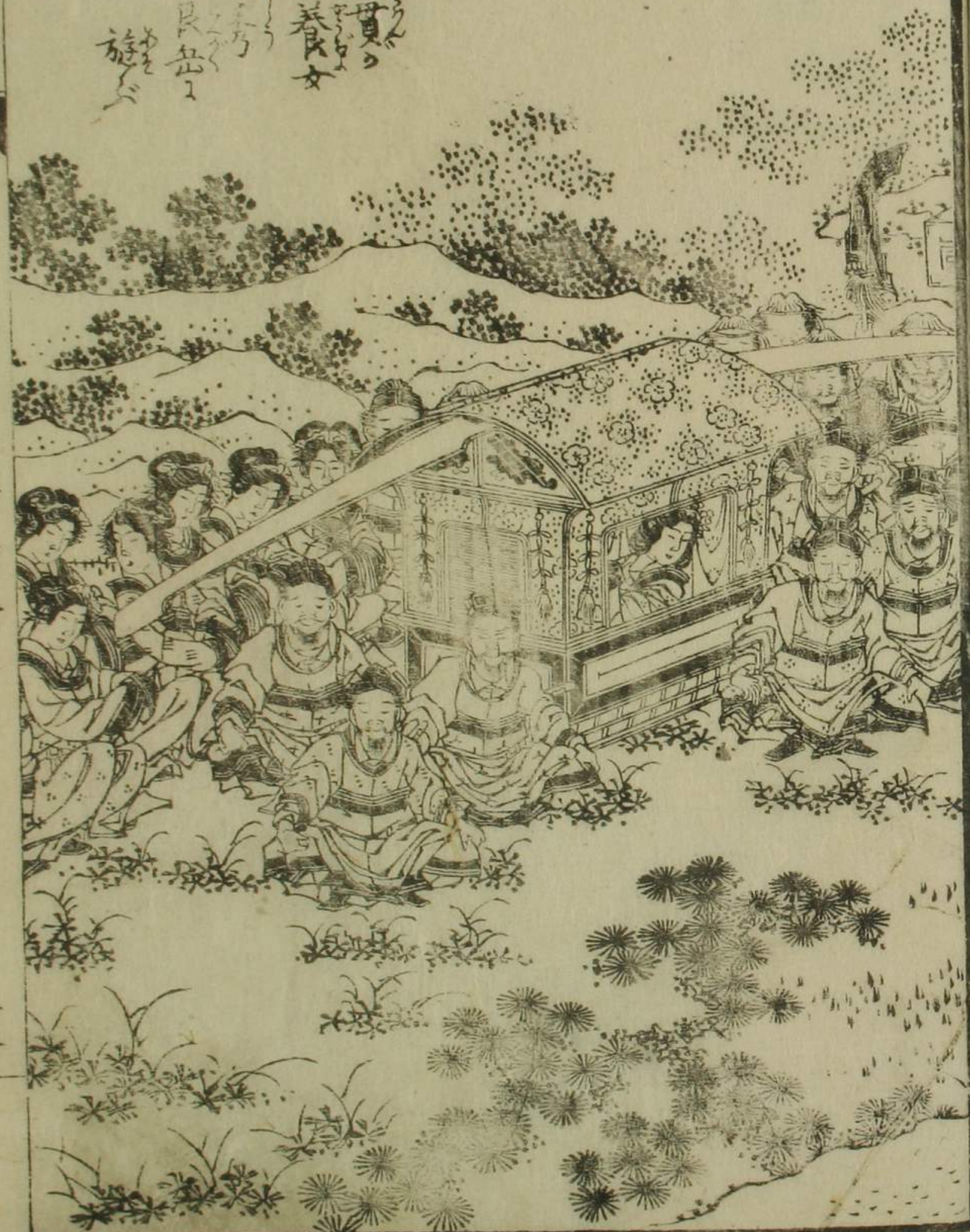
○王慶が小因く官司小變

次の日初や卯く自以爲銭く痛んぐ。官司小のりともいんを極くれ
んとて極痛く午時お卯しが妻お膏丹と買んとと初くは。只
得痛と極く致和茶の膏丹。清老児がも小往く二枚の
膏丹と求めれば王公お痛んとならば家法の外血湯と二
枚許月ひのりしてとくれば王慶も後後袋より鈔力らりの罪
子と知れ紙小包。清老児お多くと云く。先生程おと極人とな
うは清老児が云王公は杖に友ならふ何ぞ價お及んとや。右
のふお極子とね。おおの月お投入るれば王慶も茶と懐中し。回
らんとて。妙お衛門の西巻より一人の賣ト先生現ふ紗巾と裁
とさふ葛布衫と着く。もふ涼傘と持。傘のりお紙振舞と掛
大書りく。先天神敷と又右と左おおの文字ありく云
荆南李助 十文一敷 字々有准 術勝管轄

け時王慶之心中嬌柔が王と思ひ又白の擧事ふ運を維大
 小呼つゝ云李生法け処小坐下と彼先生が云友人の支幹
 うあつと云わさう。熟く王慶と暖む王慶が云死んば先生まがらふ
 一敷とトひり人彼李助係余とり。膏薬店小入り。別後老
 思ふ向う云賞擾と中々神の内より事極の裸肩と紅出。内
 より大定通室の儀と紅出。王慶小歩へて云官人天小射して自
 破中お祈り若べしと。王慶大定通室の儀と街を街紅出。街を街
 ぬ日梅とぬんと欲まふ。腰補く屈ると往らばんが只面と
 作ぐ天と祈まの李ゆ係よりまるとて密小浅老入は同く云
 彼友人と云ふふあさかや。漢先明が云彼板橋の橋とすす成
 湯とく。腰の骨と羞へ適らふとるま。お祈りするとも難うしと。

我膏薬と利ひく家りも又自由こと。け時王慶は云お祈り後
 〓〓〓と李ゆふてての李ゆい王慶の姓名と同裸肩を振く。中
 小念とて云日吉辰良 天地開張 聖人作易 幽賛神明 包
 羅万象 道合乾坤 與天地合其德 與日月合其明 與四時
 合其序 與鬼神合其吉凶 今有東京王姓君子 祈天買卦
 甲寅乙卯日 奉請作易文王先師 至聖至靈 指示疑
 明報應事ゆ裸肩と案八卦とかん小。是水電屯の卦なれど。
 別ら云爻の初静と云く王慶小官く云友人の友人の事
 ぞや。王慶が云家宅の事李ゆ首と振つゝ云小生也云せんよ
 友人必だ際ひる事なれ。只今業ずる小屯の難く。你の災難今
 まさ小起すべし。そ家内小擧事と生ずる小あゝん。必獄訟の

童貫の
養女
長島
旋



竹田人許野野八八八八



新編小説畫傳卷之七拾八

十

ところんを福をまゝに 虎抱鶏犬の日お終つては
 と後れば王慶のまゝに 主をさし 後とまゝに 李物謝
 李物も又お謝とまゝに 去り 以時府中の云人又六人役
 出あり。王慶とまゝに 汝なんぞけおまゝに 同宿るや。王慶
 といへ骨閃とまゝに 妻とまゝに 汝なんぞけおまゝに 同宿るや。王慶
 後め 汝と相おるや 人時い官 汝なんぞけおまゝに 同宿るや。王慶
 といへ。以時王慶の云人お別れおまゝに 妻とまゝに 汝なんぞけおまゝに 同宿るや。王慶
 め只と申お人とまゝに 汝なんぞけおまゝに 同宿るや。王慶
 深く飲し又某の云人お別れおまゝに 妻とまゝに 汝なんぞけおまゝに 同宿るや。王慶
 以夜お小桑敷し。又妻お厚本と初められしと。腰補ん
 初くと修けおの妻い久し。王慶が嬌と初められしと。腰補ん

蘇もろと長くなれば 夜飲ん燻んうと。王慶が腰の痛むと
 汝なんぞけおまゝに 妻とまゝに 汝なんぞけおまゝに 同宿るや。王慶
 といへ。以時王慶の云人お別れおまゝに 妻とまゝに 汝なんぞけおまゝに 同宿るや。王慶
 め只と申お人とまゝに 汝なんぞけおまゝに 同宿るや。王慶
 深く飲し又某の云人お別れおまゝに 妻とまゝに 汝なんぞけおまゝに 同宿るや。王慶
 以夜お小桑敷し。又妻お厚本と初められしと。腰補ん
 初くと修けおの妻い久し。王慶が嬌と初められしと。腰補ん

女と願ひ今汝も誓く推る事あり又一男一女の子をもなすけしむ
 只今一紙の休書と書汝志し後何方へ嫁する事争執かりしとの
 ぞ今此紙とよみ平しと云らばまある王慶の平生を貴く義
 中平文の残もかりけむと目くく。決此世と去と西小遠く忘
 地も残りて何ととらん。お奥右忠く。目く致しと云残りて彼
 が云ふ所んを別体状と書主人よあられが半大戸か入浪よと
 あへて取りりり。わが王慶の衣裳を收拾けんとて孫琳が
 志と海く。お返るおあまの毒い半大戸お返返すと別門と漬
 しい王慶大お怒り儀おあゆめと誓唯一お小門とち成
 り。お内お入く。凡妻女の實め衣袋の糸より拵返ふと
 と残らば集り持て。王慶は怒り。此儀修之間儀の老婆成

佳ひ。内合と申め。孫琳が若人おとへ又十兩の銀子と給く云
 集持儀返く。美子走ると能に。おとへ又日と強。必儀
 べ。かき留時の教待となく。後り。おとへ又日と強。必儀
 銀子とんを應。凡が。若人より人と使りて。奔走せんとて信
 使と。おとへ又日と強。必儀。王慶と信。使と。王
 慶も仕方なく。おとへ又日と強。必儀。王慶と信。使と。王
 小判を。おとへ又日と強。必儀。王慶と信。使と。王
 賄も。おとへ又日と強。必儀。王慶と信。使と。王
 と。おとへ又日と強。必儀。王慶と信。使と。王
 汝も。おとへ又日と強。必儀。王慶と信。使と。王
 王慶初年より。おとへ又日と強。必儀。王慶と信。使と。王

とろふ乃びぐ申大不強禁く。王若お言く云家之郭々我以般
 屈半官引お過う遠く配流せらる。耐耐ど彼手老旧人我お逼迫
 て休書と書しめ終の銀子とふやと王若お言く云汝平生妻と也
 買お存あふ彼いんを汝と捨ん只我人を恨むべと云り此
 王慶素より練云と娘ひらけ言と又憤然とて為じ
 老父お言び孫琳が吉と曰く撤ゆおを登り王若お言く云
 て云我特くは知お来りしおかる禽歎お言と文へまたきりのと
 とく少きお枝られ泣くおあゆりり。去程お王慶の孫琳が
 吉のあ人と共お東系と離れ僻靜なる旅店を借調治するに
 十餘日持後己お愈るれば又あ人と同じく。陝州と号せを登り

○ 樊端樊正配軍王慶汝帥とけ

以時六月上旬にければ天幕大お掛し。一日お只口只十里の海と云のみ
 十月六日と強く高山の地におまき。或日お外の申孫琳向の山
 と抱ぎて云け山とが邱山と名け。西系の地にお居りお邱山の
 東お一条の市法を市と離れ。東の男人数稀なり。お二操の
 大楢樹あり。彼樹下にお休人と己おあり。ゆるお一簇の人。西背田登
 替一人の漢子とお圍んが。お物にの半なりんと。王慶おを前こ
 へ。一人お上をと赤着。樹陰におまき。吐々喝々と云るお。棒と
 使ひ居りし。お王慶おへ。お矢はく。彼おが棒と使ふ。只死棒子
 て鳥間おも。過びと云り。彼男子く。け云と。彼棒と投る。お
 是一人の流配軍なり。お大お怒り。罵る。云。賊配軍の。我棒と嘲
 る。我今棒投お。於く。け。天下にお益者なり。汝何ぞ大強お。放居

衆人との争ぐりく、自り市上と拵く、迹をまらう。ごんが二人のち争ひ
 王慶及びあ介の公人と逢へ、若海をまると裁き、南と東で五六里
 と二つの林と通る。那辺小一処の大社、隈あり。巡りのまぶく土
 源として、二三百株の柳あり。かくて商人の王慶、ホ二人と、莊月の弟、堂
 中、小法、汗衫と脱ぎ、草鞋と玄、肩主座、定る時、れと存く、く王慶
 が姓名と官、三慶、具く、或又、府尹、小、端、害、せり、り、く、と、妻、也、ゆり
 又二人の姓名と問、あ介、商人、取、り、上、座、な、り、の、葉、端、次、か、ら、の、弟、葉、正
 先、従、より、け、地、小、住、り、別、地、名、葉、端、村、と、云、西、系、新、安、縣、小、属、せ、り
 と、終、り、お、仕、客、と、く、二人の、濕、布、衫、と、脱、り、ぬ、涼、水、と、す、ぬ、湯、と、解
 一の、又、早、子、上、小、多、く、梳、四、と、並、立、ま、り、魚、肉、菜、蔬、味、と、あ、り、は
 王慶と上座、小法、あ、公、人、と、次、座、小法、見、身、り、座、小、座、酒、盃、と、勃

け、ま、べ、王慶、厚、く、れ、と、お、く、り、く、ま、へ、刑、囚、の、人、な、り、ホ、二、位、の、あ、り、せ
 ら、う、と、実、く、羞、葉、端、が、田、莊、小、河、の、お、侍、な、り。清、足、數、盃、と、酒、ひ
 いらん、音、寛、懐、が、盃、と、通、り、の、へ、と、閑、な、る、時、小、葉、端、房、と、を、ん
 が、云、當、村、の、若、後、左、右、小、二、百、余、の、人、あ、り、皆、余、見、身、せ、と、立、見、と
 次、余、見、身、も、又、あ、り、く、後、持、と、好、ん、ご、衆、人、と、後、り、今、春、二、月、東
 村、の、祭、小、戲、場、と、立、余、見、身、も、の、地、小、遊、び、し、小、彼、地、小、又、速、と、云
 若、あり、緒、締、の、上、小、強、く、彼、と、争、ひ、遂、小、彼、小、痛、く、あ、る、と、ん、を、我
 小、見、身、も、彼、一、人、小、務、と、碓、ひ、後、彼、者、小、人、の、若、小、誘、り、ぬ、別、我、見
 身、と、悔、ま、せ、は、能、か、く、思、案、し、て、日、と、送、ま、り、今、公、の、捧、法、と、こ、る
 小、平、人、の、乃、知、小、あ、り、以、余、見、身、知、く、公、と、お、り、て、師、と、か、ま、ん、の、
 と、ど、強、拵、し、り、ぬ、ま、り、く、若、小、報、ん、と、い、へ、ど、王、慶、大、小、恨、び、強、退

配軍王慶

葉丸

兄弟

棒法と何ん



ところと當時、蔡端兒牙を、小王慶と名し、作し。その夜の辭を
 賜し。二更ふむく息をくり。翌朝、早日ゆき、外に。唐風、徐小春
 王慶自ら、お交場の柳が、小終、蔡端兒牙と教へ、持とをひ、
 と後、知ふ、忽ち一人の大男あり、既、小中、懐も、さず、身、小、葛、布、終、と
 名、く、小、細、蒲、扇、と、持、面、と、あ、ひ、ひ、と、撰、く、と、を、と、来、り、一、人、の、配
 軍、の、蔡、氏、兒、牙、と、教、を、と、ん、く、ん、中、心、為、波、配、軍、に、必、と、是、部、東、法
 上、あ、く、操、便、の、男、小、務、者、な、ん、ん、怒、く、く、蔡、氏、の、兒、牙、彼、が、秘、術、と
 学、ん、と、と、が、り、王、慶、小、向、く、汝、是、罪、人、の、身、と、く、く、途、中、小、在、て、い、う
 ん、ぞ、人、家、の、子、身、と、街、る、や、王、慶、小、思、く、く、是、蔡、氏、の、親、親、あ、ん
 と、あ、く、一、と、と、言、ば、え、来、け、ん、の、利、ら、東、村、の、黄、連、を、彼、今、子、源、小
 東、村、の、お、柳、お、即、が、宅、小、終、徳、懐、と、求、ん、と、け、知、と、と、一、が、吟、唱

の、受、へ、ら、れ、が、彼、平、生、蔡、氏、兒、牙、と、海、の、島、並、ら、ふ、と、と、ある、一、時、蔡、
 端、の、是、黄、連、な、ん、と、ん、く、ん、中、の、怒、意、を、持、四、且、せ、收、ら、れ、利、ら、大
 小、置、く、云、賊、亡、八、汝、向、へ、終、清、と、負、り、今、又、来、く、人、と、侮、る、や、黄
 連、も、又、大、い、怒、り、罵、り、て、汝、は、島、子、身、と、云、終、が、蒲、扇、と、持、着、を、
 蔡、の、蔡、端、の、扇、面、より、お、来、る、け、時、王、慶、小、明、小、終、の、黄、連、な、ん、
 と、知、つ、と、と、せ、る、途、の、柳、を、と、あ、あ、と、り、れ、が、黄、連、の、身、と、と、一、に、
 上、る、も、も、なく、蔡、端、兒、牙、ひ、び、あ、ん、の、は、密、書、を、お、く、小、お、撰、一
 或、の、蔡、と、ひ、く、お、或、の、豆、を、く、端、葛、布、終、と、終、の、ど、く、割、り、れ、れ、黄
 連、の、只、地、上、小、在、く、大、小、端、を、い、ん、を、起、来、る、と、と、ね、ん、け、時、終、終、か、入
 吉、雨、人、立、寄、く、再、三、お、推、ら、れ、が、蔡、端、終、を、止、め、お、在、客、小、命、じ、黄
 連、と、未、だ、く、東、村、の、地、の、情、小、捨、く、く、と、と、一、が、黄、連、が、途、而、の、其

